



平成29年3月28日

各位

会社名 株式会社 静岡銀行  
代表者名 取締役頭取 中西勝則  
(コード番号 8355 東証第1部)  
問合せ先 経営企画部長 梅原弘充  
(TEL 054-345-9161)

## 第13次中期経営計画策定のお知らせ

静岡銀行(頭取 中西勝則)では、平成29年度から平成31年度までの3年間を計画期間とする第13次中期経営計画「TSUNAGU ～つなぐ」を策定しましたので、概要をお知らせいたします。

### 1. 名称

第13次中期経営計画「TSUNAGU ～つなぐ」

### 2. 計画期間

3ヵ年(平成29年度～31年度)

### 3. ビジョン

Innovative Bank ～地域とともに新たな価値を創造し続ける「しずぎん」

#### <計画のねらい>

金融緩和政策の継続により金融機関にとっては厳しい経営環境が続くとともに、人口減少やAIの発展など、社会のあらゆる領域において構造的な変化が進むことが予想されます。

そうした変化に対応し、将来にわたる持続可能なビジネスモデルを構築していくために、静岡銀行グループでは、第13次中期経営計画を通じて、新たな事業領域の開拓という第12次中計の考え方を踏襲しつつ、静岡銀行グループのビジネスを支えてきた従来からの事業領域においても新たな価値を創り出し、いかなる環境でも常に地域と寄り添い、地域とともに成長していく金融機関を目指します。

#### 4. 基本戦略

- ・ 地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化

地域金融機関が成長するためには、営業基盤である地域経済とともに発展していく必要があり、総合金融サービスを駆使しながらコアビジネスをより強化し、企業の成長・地域経済の成長に貢献することで、静岡銀行グループの成長につながる好循環を生み出します。

- ・ 事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築

第12次中期経営計画から取り組んできた事業領域の拡大を一層強化し、さらに成長させるとともに、異業種連携を深化・収益化させ、地方銀行の新たなビジネスモデルを構築します。

- ・ チャネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革

次世代勘定系システムにより、お客さまにより利便性の高いサービスを提供するインフラを構築するとともに、このシステムを活用してセールス業務と業務プロセスを変革し、生産性向上と働き方改革を実現します。

- ・ 地域、お客さま、従業員、株主の夢と豊かさの実現を応援する

「地域」「取引先」「従業員」「株主」が、静岡銀行グループの提供する金融サービスを通じてつながることにより、静岡銀行グループの持続的成長を実現します。また、静岡銀行グループが、地域の成長を支え、地域にとってなくてはならない金融機関として、暮らしの中で常につながっている存在を目指します。

#### 5. 目標とする経営指標（平成31年度目標）

＜収益目標＞	
連結経常利益	770億円以上
連結当期純利益	540億円以上
＜効率性指標＞	
連結ROE	6%程度
連結OHR	55%程度
＜健全性指標＞	
連結普通株式等Tier I比率	14%程度
＜投資家向け指標＞	
株主還元率	中長期的に50%程度

以上